



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらのもっくん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成18年10月21日（第11号） 編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL（88）6635 FAX（88）3231

☆ストップ！地球温暖化☆

～京都府地球温暖化対策条例が4月からスタートしています～

13分野で地球温暖化対策を講じることとされています。主な内容は次のとおりです。

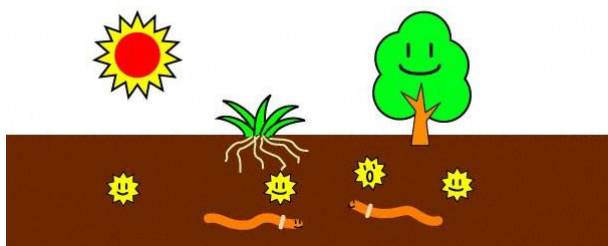
- (1) 屋上等の緑化・・・市街化区域のうち、知事が市町村長と協議して定める地域において1000㎡以上の敷地での建築物を新築等では、建築物とその敷地を緑化しなければなりません。
- (2) アイドリング・ストップ・・・自動車運転者に義務づけられるほか、事業者は従業員に順守指導しなければなりません。また駐車場設置者も利用者に対する周知をしなければなりません。
- (3) 環境情報の提供・・・自動車販売店は新車の購入者へ環境情報を説明します。特定の電気機器等（当面エアコン）の販売店は、機器の省エネ性能情報の店舗表示及び購入者への説明をします。
- (4) 人材認定制度・・・事業所等において地球温暖化対策を推進する者を選任し、届出します。
 - ・エコカーマイスター（大規模な自動車販売店における新車に係る環境情報の説明の推進者）
 - ・エコドライブマイスター（大規模な事業所におけるエコドライブの推進者）
 - ・省エネマイスター（大規模な家電等販売店における特定電気機器等の省エネ性能の表示・説明の推進者）
- (5) 京都地球環境の日の制定（2月16日。啓発実施など）

※条例だからではなく、地球に住まわせてもらっている人間の義務として実行しましょう！！

～もったいないから始めよう、できることから始めよう～

地球温暖化が進むとどうなる？

地球温暖化が進むとさまざまな生態系のバランスがくずれてしまいます。



電力消費量の多い家電製品は、エアコン、冷蔵庫、照明、テレビです。

この4つの家電製品について、特に次のことに気をつけましょう（二酸化炭素排出量は、製品の種類によって異なることがあります）。

- ・冷房（設定28℃）を1日1時間短縮
→年間電気28.0kwhの省エネ、二酸化炭素約10.1kg削減、約640円節約
- ・暖房（設定20℃）を1日1時間短縮
→年間電気50.7kwhの省エネ、二酸化炭素約18.3kg削減、約1170円節約

- ・白熱電球（54W）1灯の点灯時間を1時間短縮（年間200時間）
→年間電気19.7kwhの省エネ、二酸化炭素約7.1kg削減、約450円節約（京都府HPより）

※もっと詳しく知りたい人は、（財）省エネルギーセンターHPをご覧ください。

次のような方策もあります。

- ・冷蔵庫の扉はすぐに閉める。見ないテレビはコンセントを抜く。
- ・電球を電球型蛍光灯に（形状もほぼ同一で電球色もあります。寿命6倍、電気代1/5）
- ・自動車や家電品の買替え時はランニングコスト（燃費、消費電力）に注目（省エネラベル）
- ・歯みがきの時、水を流しっぱなしにしない（上水供給や下水処理では結構な電気を使います）
- ・自動車のトランクを荷物置き場にしない、タイヤ空気圧を適正にする。空ふかし急加速をしない。
- ・ごみを作らない／ごみにしない／ごみを持ち込まない（3R＝発生抑制、再利用、再生利用）
→生ごみの水分を減らす（濡らさない、お茶パックは絞る）、余分なものを買わない、使い捨て容器などごみがたくさん出る商品は買わない、詰替商品を活用する
レジ袋再利用（レジ袋＝再度使えばマイバック。ポイント加算店もあります）
ビン・缶・紙は再生に（混ぜればごみ、分ければ資源）、フリーマーケットで売却
- ・冷房時は扇風機を回して涼感アップ（設定温度を上げてても涼しい）

～環境美化活動を実施します（循環型社会・地球温暖化防止部会）～



昨年度「環境美化活動」のようす

昨年度に引き続き「環境美化活動」（循環型社会・地球温暖化部会）を実施します。今回は河川の清掃も行う予定です。

実施要項は下記のとおりとなっていますので奮ってご参加ください。

日 時：平成18年10月22日（日）午前9時～

場 所：JA京都やましろ宇治田原支店駐車場集合

内 容：河川の周辺の美化活動

その他：長靴持参（可能な方のみ）

『第4回 自然環境体験ハイキング』開催のご案内（自然・環境部会）



三の宮神社

自然・環境部会では、11月12日（日）に「第4回 自然環境体験ハイキング」を開催します。今まで高尾地区、奥山田地区、南地区とハイキングしてきましたが、今回は立川地区を散策します。

コースの概要は大道寺方面から御林山を散策し、熊倉神社に参拝して、糠塚方面から文化センターに戻るというコースです。途中には町内神社建築でも最古級と考えられる三の宮神社や、町指定文化財の信西入道塚といった場所もあります。

実施要項は下記のとおりとなっています。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：平成18年11月12日（日）午前10時～午後3時（雨天中止）

集合場所：宇治田原町総合文化センター駐車場（午前9時40分受付開始）

内 容：立川地区散策

募集人員：先着30名（弁当持参のこと）

応募締切：11月6日（月）まで

応募方法：参加者全員の①氏名、②住所、③年齢、④電話番号を明記し、郵送、Eメール、FAXにて応募してください（個人情報を利用目的以外には使用しません）。

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

◆会員の区分

- ・個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会 費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部 会

- ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局
（宇治田原町循環型社会推進室内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：juncan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原